

保護者の皆様

札幌市立幌東小学校
校長 涌井 摩知子

令和8年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今春に6年生児童を対象に実施されました標記調査の結果につきまして、このたび校内での分析も終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について以下のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

本校の概要(観点、資質・能力、回答方式)

今回の調査における課題

改善の方向

国語

- ☐ 「言葉の特徴や使い方」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「情報の扱い方」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「書くこと」
 - ・全国平均に比べ、やや下回っている。
- ☐ 「読むこと」
 - ・全国平均に比べ、やや上回っている。
- ☐ 「知識・技能」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「思考・判断・表現」
 - ・全国平均に比べ、やや上回っている。
- ☐ 「選択式」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「短答式」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「記述式」
 - ・全国平均に比べ、やや下回っている。

- ほとんどの項目で全国平均を上回っているものの、「書くこと」「記述式」で全国平均を下回っていることから、書く力を伸ばすことが課題である。
- 「知識・技能」については、全国平均を10ポイント以上上回っているが、「思考力・判断力・表現力」については、1.7ポイント上回った程度であることから、「思考力・判断力・表現力」を伸ばすことが課題である。
- 正答数が半分に満たない児童が3割程度いることから、全体の底上げが課題となる。

- 日常の授業において、ノートを書く場面では、板書を書き写すだけでなく、その都度自分の考えたことや気になったことを書き入れるノートづくりを習慣化していく。
- 家庭での自主学習において、知識・技能を高めるための反復学習以上に、思考力・判断力・表現力を高めるための応用問題・活用問題に取り組む機会を設けていく。
- 国語の学習以外の場面においても、自分の考えを文章で書き表す場を取り入れていく。

算数

- ☐ 「数と計算」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「図形」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「測定」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「変化と関係」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「データの活用」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「知識・技能」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「思考・判断・表現」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「選択式」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「短答式」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- ☐ 「記述式」
 - ・全国平均に比べ、上回っている。

- 全ての項目で全国平均を上回っているものの、「データの活用」「記述式」については、4ポイント程度の上回り方であり、他の項目に比べ上回り幅が小さいことから、この項目の伸長が課題であると考えられる。
- 正答数が半分に満たない児童が3割程度いることから、全体の底上げが課題となる。

- 各単元の活用問題において、解を求めるための過程を文章や言葉で表現したり交流したりする場を設定する。
- 日々の学習の中で、習熟度別に学習を進めたり、少人数で学習を進めたりする場を設定し、基礎・基本の定着を図る。
- 家庭での自主学習において、文章問題や応用問題に取り組む機会を増やすことができるよう関わっていく。

【児童質問紙より】

《全国平均より、上回っている主な項目》

- 1日当たり、3時間以上 ICT 機器で動画視聴などをしますか
(45.5%※全国平均 37.6%)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(肯定的な回答をした児童が 76.0%※全国平均 70.6%)
- 普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか
(30分以上と回答をした児童が 34.2%※全国平均 26.1%)
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか(肯定的な回答をした児童が 94.9%※全国平均 91.4%)
- 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか(肯定的な回答をした児童が 83.6%※全国平均 78.1%)

※子どもたちが、困ったときに相談しやすい環境下で生活していることや、仲間と協力して学習に取り組んでいること、読書を好む児童が多いことが分かります。

《全国平均より10ポイント以上、下回っている項目》

- 将来の夢や目標を持っていますか
(肯定的な回答をした児童 64.6% ※全国平均 81.8%)
- 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(2時間以上と回答した児童 10.1% ※全国平均 21.6%)
- 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか(肯定的な回答をした児童 63.3% ※全国平均 73.4%)
- 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか
(肯定的な回答をした児童 49.3% ※全国平均 63.0%)

※子ども一人一人の自己肯定感・自己有用感、他者意識、そして日常の学習時間を増やし、問題解決力を高めていくための手だてや関わりが重要であると考えられます。

《ICT 機器の利用に関する項目》

- 1日当たり、どのくらい ICT 機器で動画視聴などをしますか
(3時間以上と回答した児童が 45.5% ※全国平均 37.6%)
- PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思えますか(肯定的な回答をした児童が 86.1%※全国平均 79.1%)
- PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思えますか
(肯定的な回答をした児童が 82.3%※全国平均 74.6%)
- 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
(肯定的な回答をした児童が 86.1%※全国平均 79.7%)

※子どもたちが ICT 機器を活用することで楽しく学び、プレゼンの作成ができるくらい操作に慣れている反面、日常的に ICT 機器を扱う時間が長いということが分かります。

《国語・算数について》

《教科に関する質問から見えてきた傾向》

- ・ 国語・算数ともに、「好き」「得意」と回答した児童の割合が全国平均より低い。
- ・ 国語・算数ともに、授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が全国平均よりも低い。
- ・ 国語・算数ともに、学習したことが将来、社会に出たときに役に立つと考える児童の割合が全国平均よりも低い。

※学習における成功体験を味わい、学習で身に付けた知識や技能、考え方が実生活に生かされていると実感できるように関わっていくことが重要であると考えられます。

今回明らかになった課題の解決に向け、授業改善等に取り組んでまいります。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています。】

- ・ +3.1ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +1.0～+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「やや上回っている」
- ・ 全国平均と同じ ⇒ 「同程度」
- ・ -1.0～-3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ 「やや下回っている」
- ・ -3.1ポイント以下 ⇒ 「下回っている」